

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	グループホームと地域とのつきあいにおいて、近隣の保育園や小学校とイベントでの交流はあるが、日常の地域との関わりは少ない。	グループホームからもイベントや散歩で地域に出向くが、地域の方々が気軽に立ち寄れるような『開かれたグループホーム』作りを目指す。	ご家族対象としたイベントを実施する。また、地域の方々から『お話しボランティア』を募り、グループホーム内で一緒に過ごしてもらう。	12ヶ月
2	4	運営推進会議を実施しているが『地域福祉推進拠点施設』として、全部署が集まり、事業所全体で話しをしているので、グループホームについての細かい話しが出来ていない。	ご家族や地域の方々、関係機関と一緒にグループホームの事について考え、意見を出し合い、より良い運営やサービスの向上に繋がるような運営推進会議を実施する。	年度の最初と最後の会議については、全部署が参加して計画や報告について話し合うが、間の会議についてはグループホームと特養のみで、サービスについて等より細かい内容で話しが出来るように実施する。	12ヶ月
3	35	災害対策において、火災についての対策は出来ていたが、他の災害についての対策が不十分だった。	火災・水害・雪害・原子力災害等あらゆる災害における対応マニュアルを作成し、スタッフもマニュアルを基に問題なく対応することが出来る体制を作る。	各災害マニュアルを整備し、台風や降雪時期の前にはマニュアルを見直し、職員に徹底する。また、原子力災害のマニュアルについては、全くない状態なので、早急に作成し、訓練等事業所全体で考えていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。